

Machi + Midori

まちとみどり

AUTUMN & WINTER 2022

43

芸の術、花の美。



FaN

Fukuoka Art Next



NATURE IS THE ART OF GOD

人は、花に心を奪われることがある。追憶に浸る時もある。明日への力が漲る時もある。アートもまた、匠の織りなす芸の術が観る人の心を揺さぶる。イタリアの詩人・ダンテは、「Nature is the art of God.(自然は神の芸術である)」という名言を残した。今号では、花の美に焦点を当て、まちとみどりが厳選したアートを鑑賞したい。

芸の術、花の美。



建築家・前川國男氏が設計した福岡市美術館。ガラス越しの四季の彩りもまた絵画のよう。

- 04 アートの「花」を紐解く。
- 10 アートとまちとみどりと
- 12 No flower, No life!
花が好き♡私のあだ名は「毎日さん」。
- 14 第20回「花と緑のまちづくり賞」発表!
- 16 福岡都市部にあなたも「おもてなし花壇」を持ってみませんか?
- 18 福岡市緑のまちづくり協会事業のご案内
43号の読者アンケート&プレゼント!

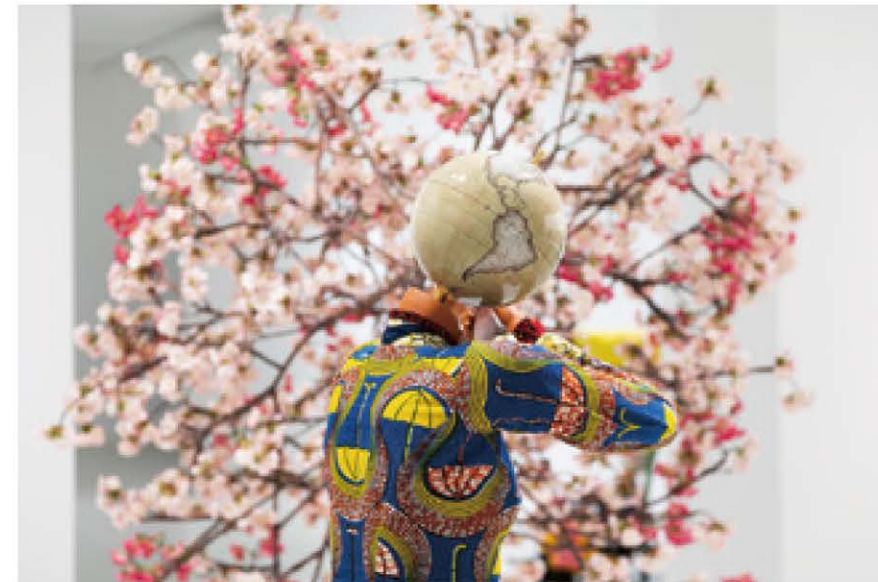
アートの「花」を紐解く。

悠久の歴史の中で、多くのアーティストが作品に「花」を用いてきた。ある時は平和、ある時は世俗、ある時は希望——、作品に込められた想いは、その表現も解釈も無限に広がり、だからこそアートは人々を魅了してやまない。

福岡市美術館の岩永館長は、「人は、アートの前では素の自分に「戻ることができると語る。作品を生で観ると、画材や筆跡を通じて作者の心の機微を感じ取れる。アートと向き合うことは、己と対峙することに通じるのかもしれない。

今回紹介する7作品は、福岡市美術館の貴重な所蔵品である。もし、展示されなければ足を止めてじっくりと観ていただきたい。花の美を鑑賞した後は、福岡市美術館の建築の美や緑の自然美も余すところなく堪能できる。

ART de HANASAGASHI



© Yinka Shonibare CBE, 2019. Courtesy of James Cohan Gallery, New York. Photo: Shintaro Yamamoto (Qoyum)

地球儀の頭部を持つ女性。ライフルから放たれる満開の桜。地球儀に記されるのは国名ではなく権利獲得のため活動した女性達の名前だ。シヨニバレは武力ではなく創造的な力で、女性達が世界を変えようというメッセージを本作に込めた。

作品名/桜を放つ女性 作者名/インカ・シヨニバレCBE (1962年~) 制作年/2019年 技法・材質/マネキン、綿布、地球儀、鋼鉄、真鍮、亜鉛合金、木、樹脂、絹 サイズ/193×436×244cm 福岡市美術館所蔵

■「コレクションハイライト」会期：2022年度通年、会場：コレクション展示室（近現代美術室C）

まこととみとEYE

「花」の持つ意味に、思いを巡らす。

日本での初個展を福岡市美術館で開催した際、日本をテーマに制作したシヨニバレの作品。桜はあえて品種を限定しないことで、よりメッセージを際立たせているのかもしれない。ドレスに用いたアフリカンプリントは複雑な輸入経路があり、文化や歴史を考えるきっかけになることも作者の狙いと言える。



旗亭（料亭）の座敷で涼む女性は、当時一世を風靡した歌手、市丸。細部まで描き込まれた画面のなかでも、彼女の凛とした姿が際立つ。博多生まれの小早川は、本作のように同時代の女性の風俗を描くのを得意とした。

作品名/旗亭涼宵 作者名/小早川清 (1899~1948年) 制作年/1933年 技法・材質/絹本着色 サイズ/219.2×168.3cm 福岡市美術館所蔵

まこととみとEYE

滑らかな絹地に散りばめられた、花。

夏座敷に茂る青紅葉、帯には牡丹、涼しげな絹の着物の裾からは撫子柄の長襦袢がチラリと覗く。作者の小早川は、市丸を好んでモデルにした。ほぼ等身大で描かれた本作は生写と称され、凛とした立ち姿から気品と色香が漂う。日本画の特色である絹地に散りばめられた艶やかな花の競演。



満開の桜の下で酒宴に興じる人びとを描く。中には踊りを披露する人もいて、大盛り上がりといった様子だ。花見は仙厓さんが良く描いた画題。楽しかった記憶を人びとと分かち合いたい、という思いがあったのかもしれない。

作品名/花見図 作者名/仙厓義梵 (1750~1837年) 制作年/江戸時代 技法・材質/紙本墨画
サイズ/32.6×52.9cm 福岡市美術館所蔵

花の下で、楽しみを分かち合う。

博多で愛された仙厓和尚の作品。親しみやすい柔らかなタッチが持ち味で、一筆を欲しがる人が数多くいたとされる。83歳の時に絶筆宣言をするも、米寿で亡くなるまで絵を通じて万人に禅を説いた。今なおコレクターが多く、「犬図」や「虎図」は福岡市美術館でグッズにも採用されている。

まことみどりEYE



〈表紙掲載作品〉

日光菩薩は、月光菩薩と対で薬師如来の脇に立つ菩薩だが、月光菩薩は失われてしまったようだ。豊かに結い上げた頭髪、張りのある表情、筋肉質で引き締まった肉体、動きのある衣の髪などはいずれも鎌倉時代の仏像の特徴である。

作品名/日光菩薩立像 作者名/不詳 制作年/鎌倉時代 技法・材質/木造(検材) 漆箔 サイズ/像高 63.7cm 福岡市美術館所蔵

泥中の蓮は、やがて花開く。

台座には蓮が用いられ、手には蓮に乗せた日輪を持っている。菩薩はいつでも駆け付けられるように立っているのだそう。「泥中の蓮」とは不浄の泥の中でも周りに染まらず清らかさを保つことを意味する。蓮に立つ菩薩は、混沌とした時代を生きる者の心の拠り所ではないだろうか。

まことみどりEYE

重要文化財



室内で女性が静かに花を生けている。戦後、中村は小金井の自邸にくつろぐ妻・富子の姿やアトリエの庭の植物を数多く描いた。鮮やかな色彩と大胆な黒い線がモチーフの形を的確にとらえ、光と影のコントラストも表す。

作品名/秋花 作者名/中村研一 (1895~1967年) 制作年/1948年 技法・材質/油彩・画布 サイズ/100.0×80.7cm 福岡市美術館所蔵

戦争画は焼け、花を描き続ける。

作者の中村は抜群のデッサン力で黒い線と鮮やかな色彩を自在に操り、光と影のコントラストを美しく描いている。描かれているのは紫蘭の一種だろうか。評価の高かった戦争画は東京空襲で焼失したが、中村の死後、富子は独力で美術館を開館し、作品を広く後世に伝えている。

まことみどりEYE



重要
文化財

向かって右隻には、楽器を演奏する婦人たちが水辺で憩う人物や釣り人を表わした、春から夏にかけての場面が描かれる。左隻では、聖母子を想わせる母と子の姿や収穫する人々、雪山を背に巡礼する人々を描いた、秋から冬の場面へと展開する。右隻には、享楽的に生きる人々を、左隻には、キリストの教えに則った敬虔な生き方をする人々を対比的に描いて、キリスト教の教えを説いた近世初期洋風画の代表的作例。

作品名/泰西風俗図屏風 作者名/不詳 制作年/桃山~江戸時代 技法・材質/紙本着色(テンペラ) サイズ/97.0×42.5cm(各隻) 福岡市美術館所蔵

■「屏風絵の世界」会期：2022年10月26日(水)~12月18日(日)、会場：コレクション展示室(古美術企画展示室)

解釈が委ねられる、赤い花。

17世紀、キリスト教とともに伝わったテンペラの技法を用いた日本の近世初期洋風画の代表作例。右隻には、真っ赤な薔薇(右)や八重桜(左)が見える。キリスト教では薔薇はさまざまな意味の表現に使われる。赤い花は享楽の象徴か、殉教者の血か、解釈が委ねられるところも一興である。

まことみどりEYE



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

〒810-0051
福岡県福岡市中央区大濠公園1-6
〈開館時間〉
午前9時30分~午後5時30分
7~10月の金・土曜日は午後8時まで開館
(入館は閉館の30分前まで)
〈休館日〉
月曜日、12月28日~1月4日
(月曜日が祝日・振替休日の場合は、
その後の最初の平日)

空と緑に調和する赤茶色の福岡市美術館。
南口へ続く沿道には、「福岡市美術館フラワ-
メイト」の四季折々の花壇が彩る。

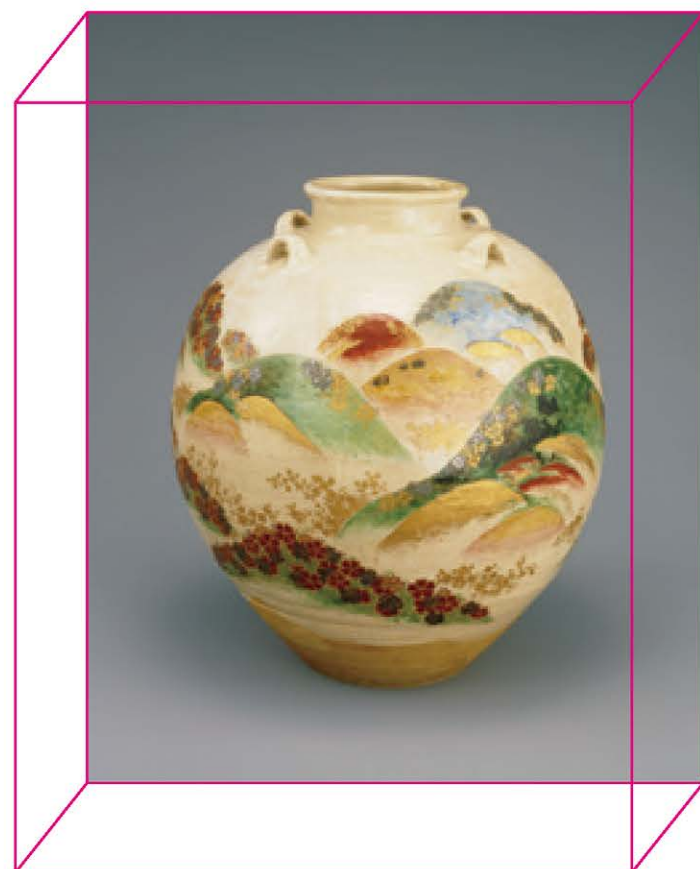
pickup

Fukuoka Art Next

福岡市美術館や福岡アジア美術館のこれまでの取り組みをさらに発展させ、彩りにあふれたまちを目指して、「Fukuoka Art Next」を始動します。

市民がアートに触れる機会を増やし、その価値や魅力を感じてWell-beingを向上させるとともに、アーティスト活動を支援し、世界で活躍する福岡発のアーティストの増加を目指します。

FaN
Fukuoka Art Next



重要
文化財

日本一の桜の名所、奈良の吉野山。その満開の絶景が、豊富な壺の表面いっぱいにデザインされている。緑、黄、赤、青、さらに金と銀まで用いる華やかさ。一部に黒く見える花は、銀が硫化したものの。

作品名/色絵吉野山図茶壺 作者名/野々村仁清(生没年不詳) 制作年/江戸時代 技法・材質/陶器 サイズ/高 35.7 胴径 31.8 口径 12.0 底径 12.9cm 福岡市美術館所蔵

■ 会期：2022年度・通年、
会場：コレクション展示室(松永記念館室)

茶壺を芸術品に仕立てた「花」。

壺の全面に吉野の連山を表現し、正面下部から背面全体にかけて満開の桜が描かれ、360度華やかな絵画的装飾を施している。日用品だった茶壺に「仁清」の印を捺したこと、ブランディングを意識した最初期の陶工だったこともうかがえる。他にも、藤や梅を描いた作品も残されている。

まことみどりEYE



福岡を散策すると、
街中のあちこちでアートと出会う。
アートは、植物と融合することで
その街の景観に溶け込み、
春夏秋冬の新しい物語を紡ぎだす。

うさぎの恩返しの意味があるんだって!?



福岡市西区の地下鉄姪浜駅を降りると、南口正面から青い波とうさぎのアートが飛び込んでくる。「ドラゴン・キング・ラビッツ」と呼ばれるこの作品は、海に身を投げて船を救ったうさぎの伝説がモチーフとなっている。作品に花を添えるのは「めいのはま宿根草ガーデンの会」の皆さんで、景観との調和を第一に環境に合った四季の植物を育てている。



アートと まちとみどり

福岡市緑のまちづくり協会の街路樹係が維持管理している。



明治通りの西交差点付近には、松永 真氏が制作した「平和の門 (Gate of Peace)」などの5つの鉄板フリークスがある。それぞれの作品に合わせた樹木や植え込みは、福岡市緑のまちづくり協会の街路樹係が維持管理している。都心部の植物は特に健全性や安全性に注意を払い、適切な管理により福岡の街路景観を形成している。



PROFILE 緑のコーディネーター 西村 愛子さん
 緑のコーディネーター1期生になり世界が広がったと語る。好きな花はキク科のロサノシャルロッテ。以前はバラが好きだったが、菊のバリエーションと奥深さに感銘を受ける。



INFORMATION 緑のコーディネーターを活用しませんか？
 (公財)福岡市緑のまちづくり協会では、花壇づくり、花や緑の体験講座など、依頼に適したコーディネーターを紹介しています。



No flower, No life!

花が好き♡私のあだ名は「毎日さん」。



— 素敵な花の写真がたくさん！すべて西村さんが撮影されたのですか？

はい。一日一枚「花図鑑」を作るイメージで撮影し、インスタグラムに投稿しています。お花は日比谷花壇さんの定額プラン「ハナノヒ」*を利用して、毎日1本受け取ります。欠かさず通うので、「毎日さん」と呼ばれています(笑)。たくさん品種があり、知識も広がりました。

— いつから花に興味を持ちましたか？

もともと花が好きで、20代の頃はフラワーアレンジメントやアロマテラピーなどの教室に通っていました。平成16年に緑のコーディネーター(以下、緑コさん)の制度ができて、1期生に応募しました。緑コさんになってからは「緑のコーディネーター」による体験講座の企画を緑のまちづくり協会に提案

し、自分で講座を開き、アレンジメントやフラワーフォト、カラーサンドやハーバリウムなど、定期的を開催するのがとても楽しかったです。イベントでのハーバリウム講座は行列ができるほどの人気でした。

— 講座を開く際に、心がけていたことはありますか？

一番は、自宅での再現しやすさです。あとは、受講料を500円以内に抑えて満足度を高めることです。講座はお花を楽しむきっかけづくりなので、受講された方から「お花を困んで、家族の会話が増えました」と言われた時はうれしかったです。

— 西村さんにとって、花の魅力とは？

人と人をつなぐ大切なアイテムです。緑コさんになったことで花好きの皆さんとつながることができ、体験講座を受講され

た方が新たに緑コさんに応募されるなど、緑の輪が広がるのを実感しました。いまはインスタグラムを通じて、見知らぬ花好きの方とつながっているのも不思議ですね。

— 今後の目標はありますか？

9月から仕事の都合でポラードに行くので、海外の花屋さんや花市場を開拓したいです。自宅で育てたハーブでティーパーティーもしたいですね！

*日比谷花壇

お花の定額制アプリ「ハナノヒ」
 日比谷花壇の各ショップでお花を受け取るサービスアプリ。西村さんが利用しているハナノヒマーケット木の葉モール店は、日々の生活でお花を楽しむマルシェスタイルのショップです。
 福岡市一人花活動サポート企業
 日比谷花壇のショップブランド
 ハナノヒマーケット木の葉モール店
 福岡市西区橋本2-27-2
 木の葉モール橋本1階
 TEL 092-836-5892
 10時~21時

第20回「花と緑のまちづくり賞」発表！

花と緑によるまちづくり活動に顕著な功績があり
市民共働のまちづくりに積極的に取り組む団体を表彰しました

森を育て、人を育てる
緑地保全を通して広がる多彩な活動



ぐりーんばんだ
／城南区七隈1丁目11(七隈緑地)

竹が繁茂して鬱蒼としていた七隈緑地が竹の伐採やタケノコ駆除を継続して行うことで明るいフィールドへ生まれ変わっています。伐採した竹や樹木を散策路や工作に使用する、落ち葉を堆肥化するなどのSDGsを実践することにも、環境教育としてそれらの取り組みを紙芝居やパネルで子どもたちへわかりやすく伝えていきます。

また、会の活動は七隈緑地だけでなく市内の公園小学校などにも広がっており、活動ではボランティアスタッフが運営に参加しています。親子連れの参加者が多く、ボランティアスタッフが別の地域で森づくりを始めると、森と地域を育てるとともに、将来森づくりに関わってくれる人材を育てているという点も高く評価されました。



福岡市内水道水の
水源となる森を守る

受賞3団体



市民緑化活動グループ「わたしの木」
／早良区曲淵道添



福岡市内水道水の水源となっている森林を守るという大きな志のもと、竹除伐、下草刈りを中心とした森林整備を継続して行っています。活動開始当初は竹に浸食されていた森林が、現在ではヤマザクラやイチヨウ並木が現れ、明るい広葉樹の森へと変貌を遂げたことが高く評価されました。

また、伐採した竹は水鉄砲門松竹灯籠などの材料にし、資源の再利用にも取り組んでいます。その他にも、自然観察会や森林整備の体験会、水でつぼ湯講座、門松づくり講座など、子供から大人まで様々な年代の人を対象として行っている活動は、「水源涵養林」を守り、創り、育てる「この大切な普及につながっています」。



ふくおか花と緑の連絡会
／東区原田4丁目
(箱崎公園内花壇)

当会の花壇は多くの方が利用する箱崎公園の入り口にあり、多年草や一年草が花壇の環境に合わせてバランス良く配置され四季折々の花が来園者をむかえてくれます。

また、緑のコーディネーターを中心に多彩な人材が所属しているため、花壇づくりの他にもネイチャーウォッチング、花に関するクラフト講座など様々な内容の依頼に対応できる体制が整っており、イベントへの出展や公民館学校、留守家庭子ども会等で開催される講座の講師など幅広い活動を行っています。活動を通して得た知識や経験を、会員がそれぞれのフィールドで発揮している点が高く評価されました。



花壇、クラフト、
ネイチャーウォッチング
多種多様な人材の集まる団体

審査委員

西日本短期大学 教授 高宮 さやか氏 (委員長)
エコマルシェオニツカ株式会社 代表取締役 井上 盛博氏
有限会社グリーンハウスベル 代表取締役 鐘ヶ江 泰一氏
福岡市住宅都市局一人一花推進部 一人一花推進課長
公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会 みどり課長

主催／公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会
協賛／有限会社グリーンハウスベル(フクオカエフエクト)

対象
「都市緑化及び都市公園保全美化運動並びに花と緑のまちづくりの推進に功績のあったものに対する市長表彰」の「花と緑のまちづくり地域活動功労者」を受賞した団体のうち、活動を5年以上継続している団体より選出されます

今津元寇防塁・松原愛護会



梅林 ガーデンクラブ



入選4団体



おおまち自然と緑を楽しむ会



和白東自治協議会 オアシス「花かご」

総評



受賞団体決定

3団体が決定

今年には森の活動が目を見えました。曲測で活動されている「市民緑化活動グループ「わたしの木」」は、水源涵養林である活動区域内の竹林化を食い止めることに成功されました。この大仕事が終わらずに13名のボランティアによってなされたことに驚きを禁じ得ません。福岡は水資源に恵まれない都市です。感謝と敬意を表するとともに今回の受賞が後継者増につながることを願っています。

「ぐりーんばんだ」は住宅街の保全緑地で竹林整備や自然観察会などの活動を行っています。活動には、地域に住む親子が参加し、得意分野を持つ会員が指導しています。会員の打合せは、オンラインで行うなどこれからの運営方法として注目です。また「ふくおか花と緑の連絡会」は花壇以外にも活動メニューがいっぱいあり、多様な人材が集まっています。このような従来にはなかった組織運営が活動を継承し裾野を広げており、ボランティア新時代を予感させます。

一方、古くから地域で大切に培ってきた防塁跡の松林維持活動は、地域を超えて福岡を代表する海辺の風景を形作っています。このように福岡の森林や花にあふれる街角は、花壇あれば花団体あり、と言えるほど多くの団体によって支えられており、このことはもうすでに「二人一花」が福岡に根付いていることを証明しているのかもしれない。

審査委員長 高宮 さやか

福岡市 緑のまちづくり協会 事業のご案内



緑と花と人。
未来へつなぐ
かけがえのない
まちづくり。

1 花と緑によるまちづくりの推進

緑化活動団体を支援

- 地域の森づくり 21団体(令和4年10月現在)
市内にある森の保全や、植樹による緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。
- 地域の花づくり 225団体(令和4年10月現在)
公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体に助成金を交付。



緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

市民協働による緑のまちづくりを推進するため、花緑に関する指導やアドバイザーとして福岡市の認定を受けた309名(令和4年7月現在)が、緑のコーディネーターとして活動中です。

■養成講座の実施

緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施。



講座は隔年開催

■紹介・派遣

花壇づくりや樹木ガイド、花や緑に関する体験講座など依頼に適したコーディネーターを紹介。



自然観察会



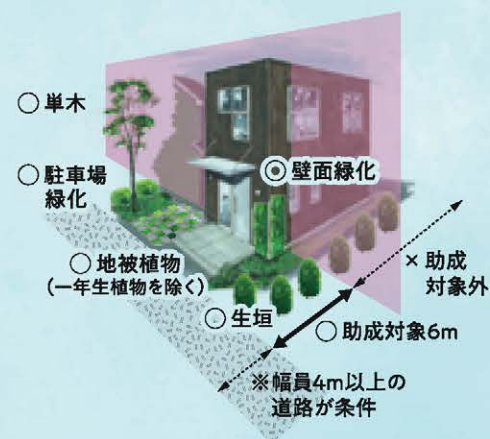
市民センター体験講座

都市緑化基金の運営

情報誌「Machi +o Midori」の発行

緑化助成

緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える民有地の緑化に助成します。



イベントやコンテストなどの開催

■一人一花サミット



■一人一花スプリングフェス



- さくらまつり
- 花と緑のまちづくり賞
- 写真コンテスト

都市緑化に関する調査研究

2 街路樹などの維持管理 (良好な都市環境の創造、安心・安全なまちづくりの推進)

- 危険箇所の応急作業
- 街路樹診断
- 受託者研修



街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。

3 東平尾公園の管理・運営 (指定管理)

- イベントの運営
- 競技場の芝生管理



昆虫ウォッチング

ベスト電器スタジアム

バックヤードツアー開催中!

日頃入ることができない選手ロッカールームやスタンドの舞台裏など、リニューアルしたベスト電器スタジアムを見学。ウォーミングアップ場で選手気分を体験したり芝生の管理作業も見ることができます。

詳しくは [ベストバックヤードツアー](#) へ

4 舞鶴公園の管理・運営 (指定管理)

- 福岡城址
- 平和台陸上競技場
- イベントの運営



自然観察会

秋の舞鶴公園であそぼう!

5 緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける 便益施設の管理・運営

■収益事業について

駐車場や公園便益施設などの管理運営を行っています。都市機能の増進および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。



接道部分を花壇にした駐車場

公園自動販売機

福岡市植物園展望台カフェ

皆さまのご意見、ご感想をお聞かせください!

43号の読者アンケート&プレゼント!

よりよい情報誌をお届けすることを目的とし、アンケートを実施しています。お答えいただいた方の中から抽選で「グリッピングズ」を5名様にプレゼント!たくさんのご応募をお待ちしています。
(締め切り期日) 2023年2月末日



皆さまのご協力をお願いします 寄付・募金の お願いです

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

花とみどりに溢れるまちづくりを支える 福岡市都市緑化基金

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民の皆さまや民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。

【福岡市都市緑化基金の仕組み】



おもてなし花壇事業のご案内です

福岡都心部に 「皆さまの花壇」をもちませんか?

福岡市では、市民や企業・行政が力を合わせ、花と緑を育てることで、まちが彩りや潤いにあふれ、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる一人一花運動の一環として、歩道や中央分離帯などに、花を植え、街を彩るために協賛いただけるスポンサー企業を募集しております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

詳しくは [福岡市 おもてなし花壇](#) をご覧ください! /
福岡市一人一花推進課 ☎092-711-4424

寄付金の税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。

手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください。

募金についてのお申し込み・ご相談

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係 ☎092-822-5832



協会本部事務所

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2-3-26
福岡タワーセンタービル2F
TEL 092-822-5832
FAX 092-822-5848

※2023年春、福岡市植物園へ移転予定

東平尾公園管理事務所

〒812-0852
福岡市博多区東平尾公園2-1-2
(陸上競技場入口)
TEL 092-611-1515
FAX 092-611-8988

舞鶴公園管理事務所

〒810-0043
福岡市中央区城内1-4
(陸上競技場入口)
TEL 092-781-2153
FAX 092-715-7590



公益財団法人

福岡市緑のまちづくり協会

www.midorimachi.jp

緑のまちづくり協会

